

## 週刊「中国・アジア」ダイジェスト

2011.01.17~01.21

記事の詳細は、情報検索サービス  
『キジサク』でご覧になれます。

\*記事は東京発行・最終版

CHINA

1月17日(月)

IDE C、金型を現地調達  
スイッチ用 / コスト大幅低減

IDE Cは、2011年に蘇州工場で試験的に金型を現地調達する。多品種少量のスイッチ用。現地金型メーカーの技術力が向上、要求品質を確保しながらコストの大削減も見込める。(5面)

大連にシンクライアント

日立 / JCB用

日立製作所は、JCBがクレジットカード発行業務のスタッフの一部を大連のオフィショア先に移管するのに合わせ、シンクライアント(記憶装置を持たない端末)システムを構築、稼働した。(9面)

中国・ベトナム、貨上げ進む

最低賃金改定

中国、ベトナムの都市で賃金が上昇している。中国では北京市が最低賃金基準を月960元から1160元(約1万4500円)に。またベトナムはハノイ市などの外資企業で155万ドン(約6700円)に。(20面)

茨城・鹿島港ルートを追加

韓国・南星海運 / 化成品関連の輸出

韓国の南星海運は、茨城県の鹿島港と韓国、中国を結ぶ定期コンテナ航路を2月から週1便開設する。同県の希望があったことや、鹿島臨海工業地帯の化成品関連の輸出需要が見込む。(24面)

1月18日(火)

LNG船、中国造船企業に発注  
商船三井など / 4隻

商船三井は、米エクソンモービルと共に、パブアニューギニアと豪州のLNGプロジェクトで、新造LNG船4隻の発注先に中国の大手造船会社である滬東中華造船を選定した。(3面)

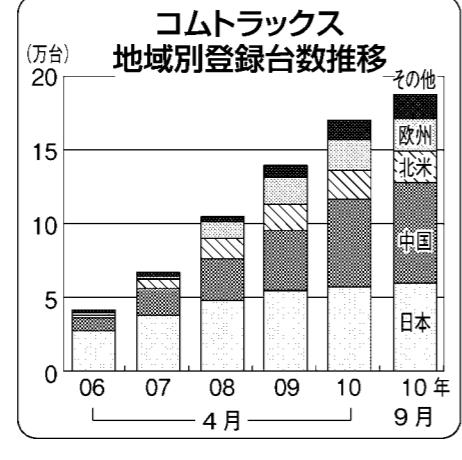
稼働管理付き建機、20万台突破

中国が最多 / コマツ

コマツの稼働管理システム「コムトラックス」を搭載した建設機械の登録台数



会談後の共同記者会見で握手するオバマ米大統領(右)と中国の胡錦濤国家主席(左)(19日ワシントン=ブルームバーグ)



が2010年12月末に20万台の大台を突破した。地域別は中国が7万台、日本を抜き首位。(7面)

ユニー、中国出店を加速

上海に2店舗目 / 日本製品豊富に

ユニーは、2013年夏にも上海市に2店舗目の大型スーパー「アピタ」を出店する。12年末の開店が決定している1号店に続く出店で、日本メーカーの製品を豊富にそろえる。(13面)

上海進出の攻略講座

CROSSFIELD 総合法務事務所

CROSSFIELD 総合法務事務所

は、江蘇海外集団グループ日本法人のJOCベルタスと、上海への進出を考える個人や中小企業者に「上海攻略のための実践研修講座」を4月開始。(25面)

1月19日(水)

オムロンオート、中国重点開拓  
中期計画 / 開発者を増員

オムロンオートモーティブエレクトロニクスは、2011年4月からの中期経営計画で中国とタイを重点市場と位置付ける。中国では開発者を増員。タイでは車載用スイッチの生産能力拡大。(5面)

東芝、水力発電機を2基受注  
出力60万kW / 30億円

東芝は、中国の水力発電所向け出力60万kWの大容量発電機2基を受注した。

受注額は約30億円。子会社の東芝水電設備が製造、2014年10月末まで納入。15年半ばの商業運転を目指す。(8面)

北海道の冬景色を満喫

ANA・JR東日本 / 訪日旅行

ANAとJR東日本は、飛行機と鉄道を組み合わせた中国向けの訪日旅行商品を共同開発した。中国からANAで出発、新幹線や寝台列車「カシオペア」で北海道の冬景色を観光する。(23面)

1月20日(木)

オムロンオート、中国重点開拓  
中期計画 / 開発者を増員

オムロンオートモーティブエレクトロニクスは、2011年4月からの中期経営計画で中国とタイを重点市場と位置付ける。中国では開発者を増員。タイでは車載用スイッチの生産能力拡大。(5面)

東芝、水力発電機を2基受注  
出力60万kW / 30億円

東芝は、中国の水力発電所向け出力60万kWの大容量発電機2基を受注した。

受注額は約30億円。子会社の東芝水電設備が製造、2014年10月末まで納入。15年半ばの商業運転を目指す。(8面)

北海道の冬景色を満喫

ANA・JR東日本 / 訪日旅行

ANAとJR東日本は、飛行機と鉄道を組み合わせた中国向けの訪日旅行商品を共同開発した。中国からANAで出発、新幹線や寝台列車「カシオペア」で北海道の冬景色を観光する。(23面)

中国の地方政府と連携

日本アジア投資 / 進出企業支援

日本アジア投資は、中国の地方政府との関係を強化し、投資機会を拡大する。昨年12月に瀋陽市と瀋陽国際ソフトウエアパークと協力協定。日本企業の誘致や現地企業の日本進出を支援。(29面)

1月20日(木)

中・韓大手と携帯で業務提携  
NTTドコモ / スマートフォンなど

NTTドコモは、中国・チャイナモバイル、韓国・KTの通信大手2社と携帯電話事業で業務提携した。次世代携帯サービス「LTE」、スマートフォン展開、ネットワーク技術など。(3面)

蛇の目、上海に営業拠点

卓上ロボ低価格機を投入

蛇の目シミン工業は、塗布やナジ締めなどの卓上型ロボット、サーボブレスを約4割低価格化、中国に投入。上海近郊に産業ロボの営業支援拠点を新設し、今夏から業務を始める。(9面)

中国にLTEネット活用提案

野村総研 / 日中参加の団体

野村総研研究所は、中国政府が整備を進めるセンサーやICタグを用いたネットワーク「物聯網」プロジェクトへの提案を行う団体「中日物聯網推進連盟」を設立。工場は2012年8月稼働。約28億円投資。中国3番目の生産拠点。(6面)

マツキヨ、海外進出を検討

候補に中国・韓国・台湾

マツモトキヨシHDは、海外での出店に向けた企業化調査に着手する。市場が拡大している海外展開を目指す。候補地は中国、韓国、台湾。国内では成長を見込める調剤部門を強化。(19面)

三井住友海上、中国の拠点倍増

長江デルタ・広東狙う

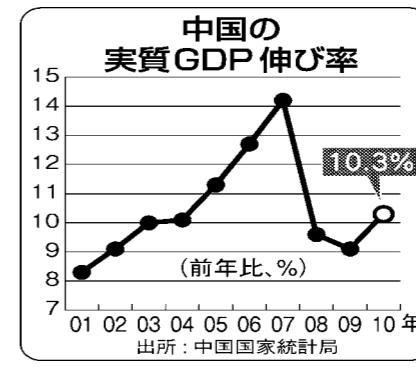
三井住友海上火災保険は、中国の営業拠点を3拠点から6拠点に倍増する。無錫市に拠点を新設。月内に深圳市、春には蘇州市に開設。長江デルタ経済圏や広東省の営業を手厚くする。(21面)

1月21日(金)

中国GDP世界2位

5兆8812億ドル / 日本抜く

中国国家統計局は20日、2010年の国内総生産(GDP)が実質で前年比10.3%増

日立機材、中国調達15%に  
工作機械用チーン

日立機材は、工作機械用チーンなどの中国からの調達比率を、2010年3月期の10%から13年3月期までに15%に引き上げる。内装システム、マテハン、構造システムで委託生産を増やす。(8面)

ボーイング、200機受注  
「737」「777」/ 1兆5600億円  
米ボーイングは、中国政府から小型旅客機「737」と大型旅客機「777」を合わせて200機受注。約1兆5600億円。ボーイングは中国が必要とする新造機を20年で4300機、39兆4000億円と予測。(8面)ヤクルト、中國内陸部で発売  
スーパーで店頭販売日販6200本

ヤクルト本社は、安徽省合肥市で乳酸菌飲料「ヤクルト」を発売する。中国ヤクルトの南京支店を通じ、スーパー・マーケットなどで店頭販売する。2011年度の販売計画は1日あたり6200本。(17面)

元建ての中国国債を販売  
マネックス証券 / 個人向け

マネックス証券は、人民元建ての中国国債を販売する。個人投資家向けは国内初。人民元建ての債券市場は規制緩和が進み、市場規模は3年間で約3倍に拡大。人民元の先高感が強い。(21面)

TEL OP

ANAが成田 成都線  
6月に開設(19日23面)アルミ品販売で上海に現地法人  
日本軽金属(20日16面)中国TV通販関連に出資  
三井物産(20日19面)ひと  
中国外交「協調路線」

東洋学園大学教授の朱建榮さんは、中国外交について「中国外交は転換期に入っている」とし、「昨年は、尖閣諸島問題などいろいろあった。今は経済発展が最優先。外交は協調路線、平和的な台頭を目指す基本方針に戻る。孤立したら立ちゆかないと。胡錦濤主席の訪米で協調路線を世界に示す」。(1月17日=20面)

ドリルで伸びている  
ユニオンツール  
P.C.B

ASIA

1月17日(月)

ヤンマー、インド参入

現地用トラクター / ITLと提携拡大

ヤンマーは、インドITLと提携拡大の交渉に入った。ITLはインドのトラクター4位。今後、ヤンマーが現地の水田向けトラクターを開発し、ITLが販売する。(1面)

インドの出資先への支援拡大

シリキ工業 / 生産技術など

シリキ工業は、出資先のインドの自動車部品メーカー、テクニコインダストリーズへの支援を拡大する。年内にテクニコ本社にシリキ社員3~4人を常駐させ、生産技術などを支援する。(6面)

新興国専用液晶TV投入

東芝 / 当初はインドネシア生産

東芝は、アフリカや中近東地域で新興国専用液晶テレビ5シリーズ、10モデルを1月下旬に投入する。当初はインドネシアなど周辺地域の工場から出荷するが、3月には現地生産する。(8面)

1月18日(火)

東レ、韓国で炭素繊維を生産

年2200t / 2013年稼働

東レは、韓国で炭素繊維を生産する。韓国子会社の尾尾第3工場に量産工場を建設し、2013年1月の稼働。生産能力は年間2200t。投資額は約50億円。当初はスポーツ用品などを生産。(10面)

エーザイ、インドでPPP

アルツハイマー病 / 薬理順序プロ

エーザイは、インドの医薬品アクセス

の改善を目指し、アポロホスピタル、ヘルプエイジングニアと、PPP契約に調印。アルツハイマー病とうつ病の服薬順守改善プログラムを開発。(13面)

タイに中小視察団

埼玉県中小振興公社 / 現地企業と商談

埼玉県中小企業振興公社は、埼玉県の上尾商工会議所と連携し、3月に上尾市の中小製造業で構成する視察団をタイに派遣する。日系企業や現地企業を訪問し、商談する。(26面)

原油・ガス田開発期間を短縮  
石油資源開発 / インドネシア

石油資源開発は、インドネシアのカンゲアン鉱区で原油と天然ガスの探鉱・開発案件を商業生産に移す時間を短縮するため、2011年度にプロジェクトを新設。経験豊富な外国人技術者を獲得。(22面)

1月20日(木)

三菱マテ、タイ・日本を増強

超硬工具の投資を再開

発した。顧客の個別仕様で供給する。浜松工場で開発し、タイのロップリ工場で量産する。(8面)

J S